

医療安全トピックス TOPICS

Vol.88

井上 純子

公益財団法人日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部 医療安全課 課長

インスリンに関する医療安全情報について

公益財団法人日本医療機能評価機構では、医療事故情報収集等事業（以下：本事業）を行っています。本事業では、過去に取り上げた共有すべき事例や分析テーマの中から、特に周知すべき情報について、医療事故の発生予防・再発防止を促進することを目的に、医療安全情報として提供しています。医療安全情報は、ホームページに公表するとともに、全国の約6000医療機関にFAXの配信を行っています。詳しくは、本事業のホームページをご覧ください（<http://www.med-safe.jp/>）。

本稿では、これまで提供してきましたインスリンの含量と単位の誤解に関する医療安全情報について紹介させていただきます。

●インスリンの事例に関する情報提供について

本事業では、これまで報告書の分析テーマや医療安全情報でインスリンに関する事例を繰り返し取り上げてきました（表）。2006年12月に提供を開始した医療安全情報の第1号は「インスリン含量の誤認」でした。医療安全情報No.1を公表して11年経過しましたが、インスリンの事例は継続して本事業に報告されています。

インスリンは、投与する量を「単位」で表す、専用の注射器が存在する、異なる作用時間の製剤が複数ある、バイアル製剤の他にペン型の製剤があるな

【表】インスリンに関する情報提供

提供年	媒体	タイトル
2006年12月	医療安全情報 No.1	インスリン含量の誤認
2007年5月	医療安全情報 No.6	インスリン単位の誤解
2011年3月	第24回報告書	「インスリン含量の誤認」の再発・類似事例について
2012年5月	医療安全情報 No.66	インスリン含量の誤認（第2報）
2014年11月	医療安全情報 No.96	インスリン注入器の取り違い
2015年6月	第41回報告書	インスリンに関連した医療事故①
2015年9月	第42回報告書	インスリンに関連した医療事故②
2015年12月	第43回報告書	インスリンに関連した医療事故③
2016年3月	第44回報告書	インスリンに関連した医療事故④
2017年10月	医療安全情報 No.131	インスリン単位の誤解（第2報）

どさまざまな特徴があります。

●医療安全情報「インスリン含量の誤認」

医療安全情報No.1「インスリン含量の誤認」は、インスリンのバイアル製剤（10mL）の単位を誤認して100単位/10mLだと思い、10倍量のインスリンを投与した事例の注意喚起です。医療安全情報No.1を公表後、それまではブランド名だけであった販売名を「ブランド名+100単位/mL」とすることになりました。

しかし、その後も継続して類似事例が報告されるため、2012年5月に医療安全情報No.66「インスリン含量の誤認（第2報）」を公表し、再び情報提供を